

令和3年度倉吉市あらゆる差別をなくする審議会議事録

- 1 日 時 令和3年11月26日（金）午後1時から午後1時50分まで
- 2 場 所 倉吉市役所第2庁舎3階 302会議室
- 3 出席者 委員14名（全委員16名）、事務局（生活産業部長、人権政策課）5名、傍聴1名
- 4 概 要 ■：議長発言、○：委員発言

(1) 協議事項 第6次倉吉市あらゆる差別をなくする総合計画の進捗状況について

■第6次倉吉市あらゆる差別をなくする総合計画の進捗状況について事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

■ただ今、事務局から説明がありましたが、何かご意見はございませんか。意見がございませんので、この件については終わります。

(2) 第6次倉吉市あらゆる差別をなくする総合計画アクションプランについて

■第6次あらゆる差別をなくする総合計画アクションプランについて事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

○33頁に児童館、放課後児童クラブ運営事業として、K P I に29施設を上げているが、インターネットで確認すると市内には児童館等は19施設あるようだが、確認をお願いする。

(事務局) 担当課に確認したところ、併設してるものもあり、29施設は建物の数ではなく、機能として設置されている数となる。どちらにせよ、分かりにくい表記であるので、適切な表記とするよう、担当課と協議して改める。

○7頁に倉吉市人権絵本作成事業とあるが、どのような方が携わっておられるのか。また、今年度の作成状況はどうか。

(事務局) 絵本で人権啓発を行いたいという画家の方等、有志の方で運営されており、倉吉市人権文化センターが運営している。今年の絵本は、ストーリー部分は既に完成しており、現在、イラスト部分を作成中と聞いている。過去に製作された絵本の現物を、会場で回付するので、ご覧いただきたい。

○6頁に解放文化祭と人権のために学ぶ同和教育講座のK P I が、それぞれ70%、80%と設定されているが、この違いは何か。

(事務局) 毎年度、事業実施の際にアンケートを実施しているが、それぞれの過去のアンケートスコアの傾向を見ながら設定したため、違う値に設定したもの。

○アクションプランについては、庁内で運用される資料であることから、誤字脱字など、細かい誤りは仕方ない部分があるが、見直しをしながら運用するものであるので、全てを通して丁寧に確認すること。

(事務局) 確認いたします。

○目的の書き方がバラバラになっている。目的と目標を分けて標記するなど、工夫すること。

(事務局) 担当課と協議し、表記について工夫いたします。

○K P I に実施回数といった具体的な数値としているものや実施するかしないかに設定しているものがあるが、これは可能な限り数値的な目標とするようにされたほうが良い。

(事務局) 担当課と協議し、数値的なスコアとなるよう検討します。

○45頁に性的マイノリティについて触れてあるが、就学前からの取組を担当課と協議して欲しい。幼児期において、既に自分の性に違和感を持つ方もおられると聞いた。その後、家族等の指導により、周りに合わせて生活していたが、大きくなってから改めて性の不一致を認識する例があるようだ。幼児期においても、性の不一致について理解を進める取組が必要ではないか。

(事務局) 担当課と協議し、検討いたします。

○令和3年11月13日(土)に、人権に学ぶ同和教育講座でアイヌ先住民族に関する講演会に参加した。これまでにない取組で、講師の方も輝いて見え、スタッフの方も生き生きと運営されており、大変感銘を受けた。このような取組を、今後も増やしてほしいと感じた。

○26頁の外国にルーツを持つ人の人権の現状と課題の部分について、2項目目の記述が名詞で終わっているため、他の項目と比べて不自然だと感じた。また、外国にルーツを持つ人には、以前から外国籍を持つ方、実習生などで一時的に入国されている方がいるが、使い分けはされていないのか。

(事務局) 2項目目の記述は、他の項目と同じような表記に改めます。実習生の方は、年々増加傾向にあり、ここでの「外国にルーツを持つ人」には、実習生の方も含めています。

○48頁に「犯罪や非行を犯した」という表記があるが、「犯罪や非行をした」と改めていただきたい。

(事務局) そのように改めます。

○19頁に就学前と就学後との連携事業のK P I について、令和3年度が80%、その後に段階的に向上させ、5年後に100%とあるが、これは目標設定として不適切だと感じる。確かに、現場としては、関係者の理解が得られず対応できない案件もあるが、この表記では、初年度から支援を受けられない児童・生徒が2割存在することとなる。これは通年100%とするべきではないか。

(事務局) 担当課と協議し、目標設定を改めるよう検討いたします。なお、今後、K P I に対し、年度毎の実績値、振り返りや改善事項を追記していくこととしています。

○17頁から障がいのある人の人権について記載がある。先日、車椅子の児童・生徒が入学するにあたり、学校、保護者、在校生での協力体制について話し合いがもたれたという話を聞き、とても良い取組であると感じているが、学校にはエレベーターがないといった施設整備の問題も

あり、このような件については、人権政策課が関わりをもって検討されていくのか。

(事務局) 施設整備については、人権政策課が関わるというのではなく、倉吉市人権施策推進連絡会議で検討し、対応いたします。

○K P I を広報の実施回数としている部分と、実施する、実施しないとしている部分の意図は何か。広報回数1回であれば、それは「実施」という目標設定でよいのではないか。

(事務局) 開催回数1回と設定しているものは、少なくとも年1回は必ず実施するという意図で設定したもの。2回、3回と実績が挙げられた場合、量的なスコアを表記できるよう工夫した。

○K P I の設定を全体的にみると、横ばいな印象を受けるものがある。増加傾向になるよう設定してはどうか。

(事務局) 担当課と協議し、対応いたします。

■その他、質問はございませんか。それでは、この件については終わります。

(3) その他

■その他の協議事項について、事務局又は皆様から何かございませんか。

(事務局) 事務局からはありません。

■それでは、本日の議事を終了させていただき、議長の任を終えたいと思います。この会の意見を受け、担当各課と協議して、あらゆる差別をなくする総合計画に推進に反映をしていただきたいと思います。